

赤潮情報第34号

（八代海：シャットネラ、カレニア警報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

**シャットネラが6細胞、カレニアミキモイが1300細胞確認。
引き続き嚴重な警戒が必要です。**

本日、熊本県、漁業者グループが調査したところ、シャットネラ属が海水1mL 当たり **最大6細胞**、カレニアが**最大1300細胞**、確認されました。天候や海況によって増殖する可能性がありますので、引き続き**嚴重な警戒が必要です**。（詳細は下図を参照してください）。

これらの種は有害で、魚介類がへい死することがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等がされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止めや粘土散布等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりのシャットネラ属の細胞数。【採水時刻】
[]の数字はカレニア ミキモイ。

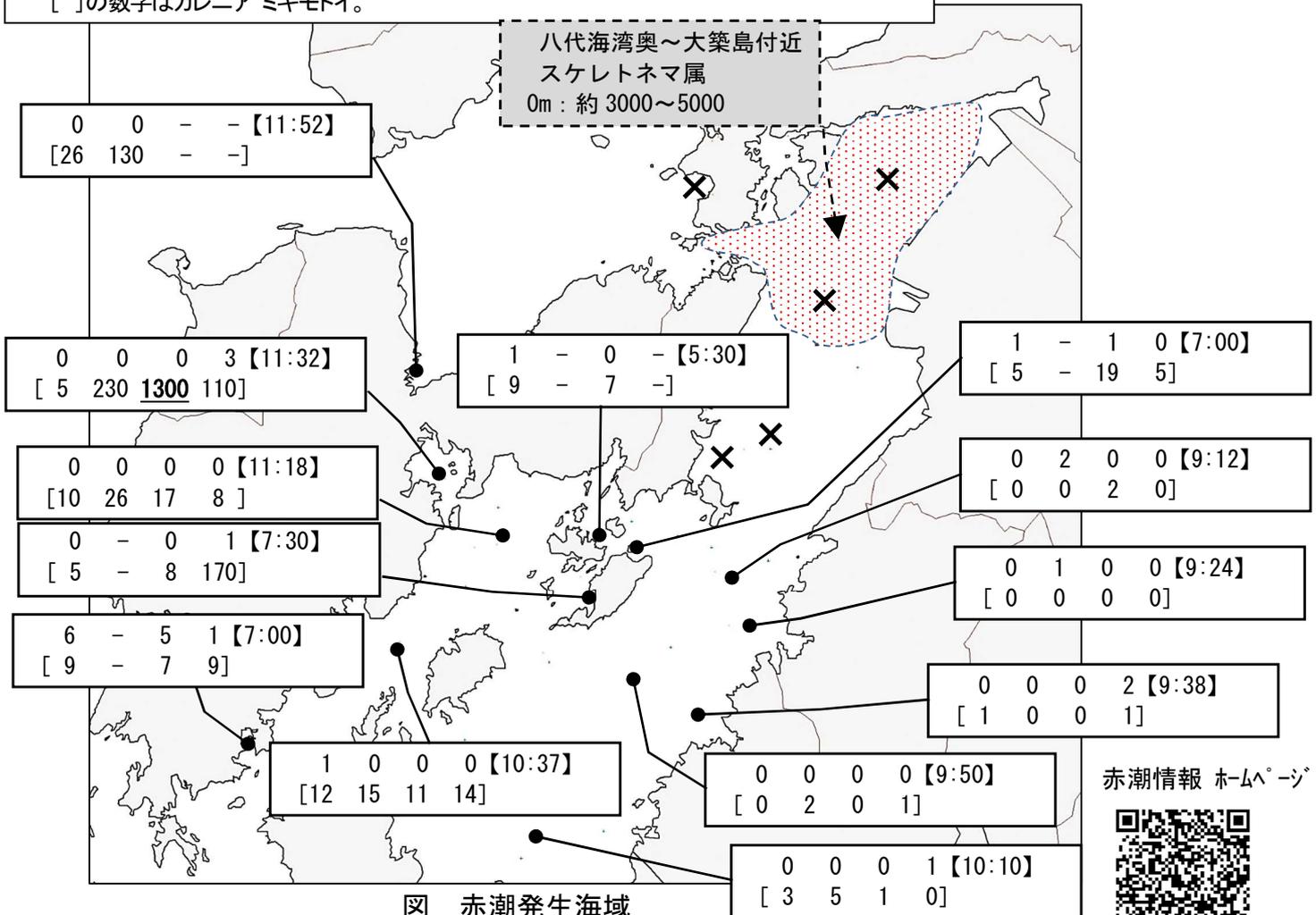


図 赤潮発生海域

※ はスケルトネマ属や濁りによる着色域です。
※ ×印：全ての採水層でシャットネラ属とカレニアが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

